

# 柳ヶ瀬の影日向で過ごす

— 学生がつなげるアーケードの賑わいと中庭の暮らし —

商店街の賑わいと安心して住むことのできる住空間を併せ持つ柳ヶ瀬へ  
 柳ヶ瀬の低未利用地を活かした中庭のような住空間  
 アーケードの架かる賑わいの商業空間  
 それらをつなぐ将来を担う若者たちの学校  
 この3つの関係が、柳ヶ瀬に賑わいと安心感が連続する街並みを生み出していく



住空間

専門学校

商業空間

中庭通り

くらしの教室

学生のお店

アーケード通り

学生が教える住民向け教室

作品の展示・販売する店舗

### 暮らす

アーケードを撤去し、住空間に適した「中庭通り」に整備

「中庭通り」より「くらしの教室」前広場を望む

### 繋がる

二つの通りを繋ぐ位置に専門学校を計画  
 住人・学生・来訪者・商人による多様な交流が生まれる

「くらしの教室」より「学生のお店」を望む

### 賑わう

歴史を継承する「アーケード通り」に  
 点在する専門学校の賑わいが広がる

「アーケード通り」より「学生のお店」前広場を望む

## 1. まちなか居住による柳ヶ瀬の活性化

### 方針

「まちなか居住」のバリエーションを増やし、誰もが住みたいと思う柳ヶ瀬へ

#### 住み方1: 都心ライフを楽しむ

高島屋南地区の再開発のような、低層部に商業、高層部に住居を設けたタイプ。プライバシーを確保し、便利な都心ライフを楽しみたい高齢者やファミリー層など、新規の入居者を呼び込む場合に適している。

#### 住み方2: 商店街の雰囲気を楽しむ

空き店舗や低未利用地を中心にまとまった低層住宅を建設するタイプ。日常的に商店街の雰囲気を感じながら生活できる。柳ヶ瀬に愛着のある人や、自分流の住み方を求める人などを対象に柳ヶ瀬ならではの住み方を提供。

本計画では、住み方2を提案する事で、既に計画されている住み方1と連携。柳ヶ瀬に愛着のある人も無い人も、誰もが住みたいと思う柳ヶ瀬を目指す。

	住み方1	住み方2
住み方	商店街の上に住む	商店街の中に住む
イメージ		
特徴	プライバシーを確保した便利な暮らし	商店街の雰囲気を感じる便利な暮らし
対象	利便性を求める高齢者やファミリー層	柳ヶ瀬にこだわりを持つ人

## 専門学校のサテライトスクールを計画し、住人・学生・商人に多様な接点を生み出す

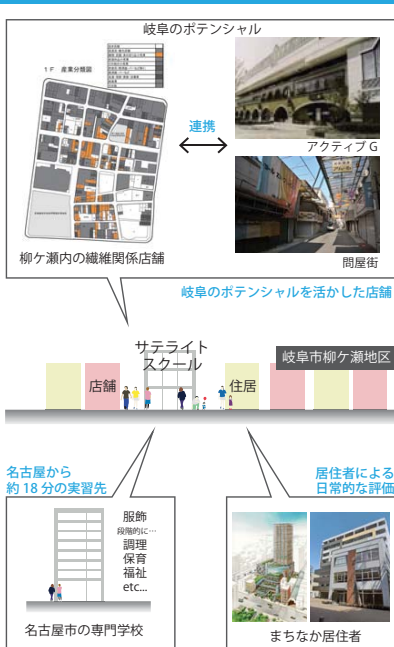
### 実習の場としての柳ヶ瀬

専門学校のサテライトスクールを計画。古くからファッションの街として栄えた岐阜。柳ヶ瀬に多く残る織物・服飾関係の店舗や駅前の問屋街などを活用し、名古屋にある専門学校の実習の場として小規模なサテライトスクールを計画する。このスクールでは、今ある店舗、問屋街などから岐阜の織物技術を生きた教材として学ぶと共に、まちなか居住者とも積極的に触れ合うシステムとすることで、作り手、使い手、それぞれの視点から学ぶことを目標とする。

この織物業を先駆けて、まちなか居住に必要な調理、保育、福祉といった様々なスクールを段階的に整備。これにより、住人・学生・商人に多様な接点を生み出し、柳ヶ瀬全体の活性化に繋げる。

#### 名古屋市との連携

名古屋からJRで約18分という地の利を生かし、名古屋市の専門学校の実習先として、柳ヶ瀬を提供する。これにより、名古屋市との連携を強化し柳ヶ瀬の活性化に繋げる。



## 専門学校によって繋がる、賑わいの「アーケード通り」と落ち着いた「中庭通り」

#### 「アーケード通り」「中庭通り」の整備

柳ヶ瀬地区の歩行者量の分析より、人通りの多い通りと少ない通りの2種類が明確に分かれる結果を得た。この分析を基に協議を行い、人通りの少ない通りの中から、アーケードを取り外す通りを選択。アーケードを取り外した通りには、植栽や舗装の整備を行うことで、日の当たる心地よい住環境「中庭通り」を作り出す。一方、その他の通りはアーケードの改修や空き店舗を埋めていくことで賑わいの「アーケード通り」を作り出す。

「平成22年度岐阜市歩行者通行量調査」を考慮して作成

#### 「中庭通り」に面した住空間を整備

住環境に適した通りの整備に併せて、「中庭通り」に面する住居を計画。これにより、「中庭通り」を中心とした住人のコミュニティが形成される。柳ヶ瀬に住むからこそ生まれる昔ながらの身近なコミュニティがいくつも創出され、全体の活性化に繋がっていく。

#### 整備ステップ

現状 → 一部のアーケードを撤去し、住環境を整備 → 徐々に住宅を建設 → 二つの通りを繋ぐ位置に専門学校を設ける

#### 「モデル地区」における「中庭通り」・「アーケード通り」・「専門学校」の関係性

歴史を継承するアーケード通り  
 学生店舗前広場から活気があふれ出し、通りに賑わいを与える

学生の作品を販売・展示する商人・来訪者とのふれあいの場  
 学生のお店(専門学校)

\*学生のお店の例  
 ブティック  
 レストラン  
 託児所  
 デイケアセンター  
 (服飾学校)  
 (調理学校)  
 (保育学校)  
 (福祉学校)

\*くらしの教室の例  
 手芸教室 (服飾学校)  
 料理・食育教室 (調理学校)  
 子育て教室 (保育学校)  
 介護教室 (福祉学校)

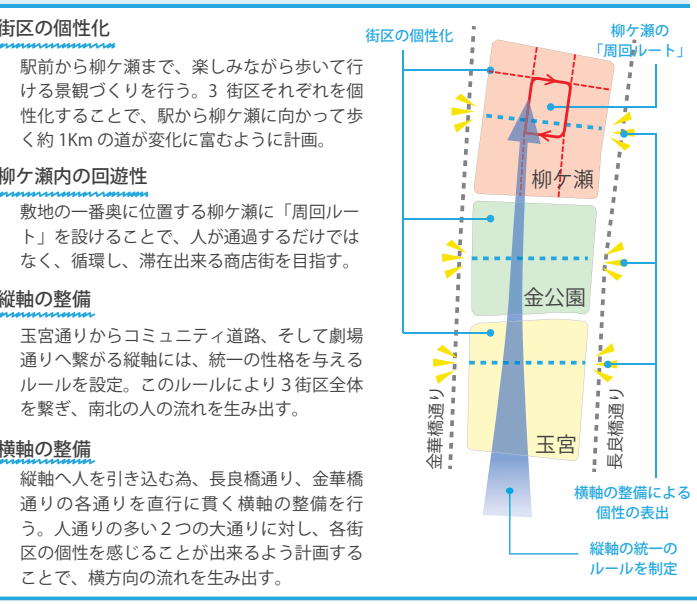
くらしの教室(専門学校)  
 学生による住民向けの教室  
 住民とのふれあいの場

アーケードを撤去した中庭通り  
 中庭に向けられた緑やテラスを介して住人と学生のコミュニティが生まれる

# 2. 地域全体の回遊性を向上

## 方針

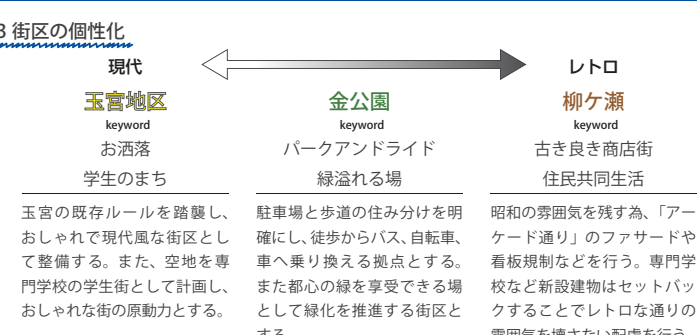
### 柳ヶ瀬「周回ルート」の制定と地域全体の縦軸・横軸の整備による回遊性の向上



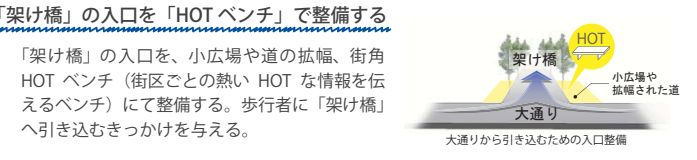
### 柳ヶ瀬に賑わいスポットを繋ぐ「周回ルート」を整備



### 3街区の個性化とそれを貫く縦軸「時の道」の整備



### 大通りから人を導く横軸「架け橋」を整備



**「郷愁」の架け橋**  
昭和にタイムスリップしたような、レトロな風景で繋がる。

**柳ヶ瀬「周回ルート」**  
新旧の柳ヶ瀬賑わいスポットを繋ぐ周回ルート。

**「交通」の架け橋**  
東西に待合所、レンタサイクルを整備し、中央に駐車場を計画。徒歩・BRT・自動車・自転車が乗り換えできる道。街区東側の道路を拡幅し車動線を集約、コミュニティ道路を歩行者専用にする。

**「光」の架け橋**  
道路を拡幅し歩道を整備。通り沿いには、お洒落なブティックやカフェが並び、通り裏の空地には、学生アパートが計画され学生の街として活気を生み出す原動力となる。

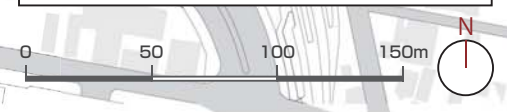
**「時の道」**  
歴史ベンチが柳ヶ瀬まで連続する。時間を遊べる道。

**「社」の架け橋**  
信長ゆめ広場、JR・名鉄駅、金華橋通り、長良橋通りを繋ぐペストリアンデッキ。



**凡例**

既存主要商業施設	新設住居
新設商業施設	サテライトスクール
学生用住居	歴史ベンチ
交通拠点施設	HOTベンチ ※色は街区に対応
立体駐車場	



柳ヶ瀬地区 古き良き商店街・住民共同生活

金公園地区 パークアンドライド・緑溢れる場

玉宮地区 お洒落・学生のまち

岐阜駅周辺地区 岐阜の顔づくり